

「ヨセフもその兄弟たちも、またその時代の人々もみな死んだ。
イスラエルの子らは多くの子を生んで、群れ広がり、増えて非常に強くなった。
こうしてその地は彼らで満ちた。」
(出エジ 1:6,7)



聖書が教える教育の本格派セミナー!
チャーチ&ホームスクーリング

前回参加者 **830名!**

父の心の子に向け、子の心を父に向けて (マラキ 4:6)

どなたでも **大歓迎!**

**チャーチ&ホームスクーリング
CheaJapan Convention 2023**

場所 ▶ **東京 Tokyo**
国立オリンピック記念青少年総合センター (東京・代々木)
Olympic Center (Yoyogi, Tokyo)
10月13日金 - 14日土

場所 ▶ **大阪 Osaka**
大阪羽衣青少年センター (大阪・高石市)
Hagoromo Youth Activity Center (Takaishi, Osaka)
10月20日金 - 21日土

主講師
ハル&メラニー・ヤング夫妻
Hal & Melanie Young, Raising Real Men Ministries
(男の中の男を育てるミニストリーズ)

主講師
ジョイス・イノウエ女史
Joyce Inoue, Child D Ministries
(チャイルドDミニストリーズ)

チア・にっぽん TEL: 042-318-1807 FAX: 03-6862-8648 www.cheajapan.com

チア・ロンブングン
パンフレットできました!

暑い夏、皆さま、主にあって大いにご活躍のことと思います。3年半ぶりとなるチア・コンベンションの準備が進んでいます。パンフレットも完成したので、お届けいたします。前回のコンベンション写真をベースにした恒例のデザインですが、子どもたちや参加者の皆さんの表情が懐かしく、また感動的でした。今年もさらに神さまと皆さんに喜ばれるコンベンション開催に向けて貢献できればとの思いで力を尽くし、祈りながら進んでいます。

主にありて

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

35名を超える講演者の皆さんに 励まされて

今年も、35名あまりの基調講演・分科会各講師の皆さんが、アメリカ、そして北海道から沖縄まで日本全国から駆け付けてくださいます。ベテラン・現役・新人の各世代、難関試験・資格突破、発達・学習障害（ADHD・LD）、シングルマザー、研究者、天才児系、大器晩成タイプの子どもたちを育てるホームスクーラー……。様々な立場と体験を経て、神さまが子育てを通して教えてくださったメッセージが分かち合われます。

基調講演者のハル&メラニー・ヤング夫妻は、6人の男の子をホームスクーリングで育てました。その中に、読み書きの障害を持ったお子さんがいます。中学生まで3文字以上の英単語スペルが覚えられなかったそうです。しかし、その後、大学では全額奨学金で卒業するほどに成長を遂げました。また、6人の子どもたちが成人した後も、親友のような親子の絆が築かれている、そうした子育てをしてこられました。

日ごろチアの皆さんからの相談を受けつつ、あるいは私自身の体験からも、親子の絆や、本質的なコミュニケーションの重要性を感じていたタイミングでもありました。講演がとても楽



ハル&メラニー・ヤング夫妻



ジョイス・イノウエさん（真ん中）と通訳のキャロリン・愛子・ホーランドさん（右）白馬セミナーにて。今回も東京・大阪へ！

しみです。

今回、ジョイス・イノウエさんも講師を務めます。コンベンションや白馬セミナー等、6度目の来日です。パーキンソン病の闘病生活も続く中、医学的には奇跡の来日です。もしかすると、今回が最終回となるかもしれません。

ジョイスさんの分科会は、毎回、ほぼ満席が続く人気セッションです。3人の子どものうち、2人の聴覚・視覚等の情報処理困難を訓練、克服させました。また、すべての子どもたちは、神さまが「奇しいことをなさって、恐ろしいほど（詩篇 139:14）」に素晴らしく創られた存在であり、様々な個性を持っているとの視点から、励ましを与えてられました。

聖書やジョイスさんからのサポートを受け、学習障害、発達障害に向き合ってきたチアメンバーたちから、今年は朗報も届きました。

「神は子どもが願っていた大学進学の手を開いた」「大学で無事、進級できた。以前は信じられないことだった」。そんな声を相次いでい

ただいています。

35名を超える分科会の講師の皆さんらと久々に連絡を取り、アップデート情報を聞きながら、大いに励まされました。そのことは次号187号でお伝えできればと思っています。

全国の分科会講演者の皆さんに励まされる！（詳細は次号にて）

過去24年間、のべ8000人を超える子どもたちが推奨するチルドレンミニストリーや0歳児からのチャイルドケアも準備が進んでいます。神さまから大切な子どもたちを預かった私たち親や、その助け手たちの使命と責任は、とても大きいことを痛切に感じる毎日です。

どなたでも大歓迎です。今回のコンベンションへのご参加、お祈りのほど、どうぞよろしくお祈りします。

チア・につぼん提案 「高校入試内申書から出欠日数削除」 国会審議へ！

対談 笠 浩史 元文科副大臣

チア・につぼん提案「高校入試内申書から出欠日数削除」

笠議員、国会質疑で 永岡文科大臣から 「しっかり検討していく」 の言質を取る

聞き手 チア・につぼん代表 稲葉寛夫



国会（衆議院決算委員会）で、チア・につぼん提案の案件について、審議が行われました。笠浩史議員の質疑で、永岡文科大臣から「しっかり検討していく」との答弁の言質を取ることができました。

詳細は、2つの小冊子「チア・につぼん提案『高校入試内申書から出欠日数削除』国会審議へ！」と「対談 笠 浩史『元文科副大臣 笠議員、国会質疑で永岡文科大臣から「しっかり検討していく」の言質を取る』」にレポートがありますのでご覧ください。以下、抜粋です。

◇

東京都や広島県らで今春実施が始まった「高校入試内申書からの出欠日数削除」の全国実施に向け、笠浩史議員（元文科副大臣／立憲）が永岡桂子文科大臣と質疑を行いました。

この課題は、多様な教育の環境整備の一環として、チア・につぼんが、1年半ほど前から「超党派多様な学びを創る議連」の国会議員らを中心に、提案してきたものです。永岡大臣の答弁後、7月に文科省の中教審（中央教育審議会）で議論が重ねられ、特に高校入試制度等について、8月の審議会で審議される予定です。

今回、国会及び文科省で質疑されている「出欠記録の削除」は、ダイレクトに「ホームスクーリング」についての話し合いではありません。また、そのことを通して、チアが「高校に進学しよう！」と主張しているわけでもありません。でも、こうした「外堀」ともいえる入試制度改革を進めることによって、日本社会で「学校」や「学校への出欠」に縛られている意識や状況が変わり、「多様な教育」そして本丸である「ホームスクーリング」の環境整備につなげていく切り口になるでは、との目的からです。

先日、多様な教育を実現する超党派議員連盟幹事長の浮島智子衆議院議員との面談においても、「（稲葉）『高校入試の出欠記録の削除』は、私たちが進めたいホームスクーリングそのものではないのですけれどね」と話した時に「いいえ。これは、そのためにも大事です」と励ましていただきました。

実際に、スポーツ・音楽関係で神さまからの特別な召しを受け、高校を受験するホームスクーラーの役にも立ちますし、また、全国で30万人を超えたと文科省が発表している不登校生の皆さんや家族を助け、祝福していくミッションの展開にもつながっていきます。結果として、「ホームスクーリングを含む多様な教育」がさらに浸透していき、聖書に立つ霊的なムーブメントにつながっていきます。

こうした目的を示されながら、皆さんの日ごろの実践と祈りと応援の中で、チアからの提案が国会で取り上げられ、中教審で審議とされるころまで、一步一步、進んできました。

これは、ただ神さまの恵みと助けであり、また、ホームスクーリングを含む、多様な教育へ



どなたでも大歓迎！ 神の恵みとあわれみの中でのチア・コンベンション！

の神さまの祝福と励ましの軌跡の展開の一つではと、とらえています。いずれにせよ、ホームスクーリングの法的環境整備が、一步一步進んでいることを、神さまを賛美しつつ報告させていただきます。どうぞ、続けてお祈りください。

神さまの恵みとあわれみの力で

「イスラエルの子らは多くの子を産んで、群れ広がり、非常に強くなった」(出エジプト1:7)

とはいえ、親、またその助け手としての不十分さも示される日々でもあります。そして、神さまの恵みとあわれみの力を思います。

聖書の出エジプト記1章でも、神さまのあわれみの力で強められる、イスラエルの民の姿が描かれています。

「ヤコブの腰から生まれ出た者の総数は七十名であった。ヨセフはすでにエジプトにいた。それから、ヨセフもその兄弟たちも、またその時代の人々もみな死んだ。イスラエルの子らは多くの子を生んで、群れ広がり、増えて非常に

強くなった。こうしてその地は彼らで満ちた」(出エジプト1:5-7)

エジプトの地で、イスラエルの民は迫害され、奴隷として苦難の日々を過ごします。ヨセフやヤコブらから始まった民は、その苦難の中で、神さまのあわれみと恵みの力により増え、非常に強くなります。この後もさらに苦しみは加速しますが、

その後、出エジプトの大きな奇跡の歩みへとつながり、全世界の人々を今日に至るまで励まし続ける民として、神さまに用いられていきます。私たちも、あわれみと恵みをもたらす、この神さまを見上げ、悔い改めながら、その恵みの力で歩いていくことを示されます。

皆さんと一緒に、神さまのあわれみと恵みを求め、キリストにあって圧倒的な勝利の歩みを続けられればと思っています。皆さんへのますますの祝福を祈っています。

心から感謝しつつ

稲葉 寛夫

チア・コンベンション 2023

～スケジュール～ (予定。変更の可能性あり)

東京

【10月13日】

9:00	受付開始
9:30	賛美
9:40	開会 挨拶と祈り
9:50～10:50	基調講演1
11:00～11:35	基調講演2
11:35～11:50	インフォメーション
11:55～13:10	昼食
13:15～13:45	賛美 インフォメーション
14:00～14:50	分科会1
15:05～15:55	分科会2
16:10～17:00	分科会3
17:10～18:40	夕食
18:45～21:00	自己紹介&アップデートタイム

【10月14日】

8:50	受付開始
9:20	賛美
9:30	開会 挨拶と祈り
9:40～10:40	基調講演3
10:45～11:00	インフォメーション
11:20～12:10	分科会4
12:15～13:20	昼食
13:30～14:20	賛美&絵画表彰式
14:40～15:30	分科会5
15:45～16:35	分科会6
17:05～17:35	フィナーレ、チルミニ賛美

大阪

【10月20日】

9:00	受付開始
9:30	賛美
9:40	開会 挨拶と祈り
9:50～10:50	基調講演1
11:00～11:35	基調講演2
11:35～11:55	インフォメーション
12:00～13:10	昼食
13:20～13:35	賛美 インフォメーション
13:50～14:40	分科会1
15:05～15:55	分科会2
16:10～17:00	分科会3
17:05～17:15	インフォメーション&祈り

【10月21日】

9:00	受付開始
9:10	賛美
9:20	開会 挨拶と祈り
9:30～10:30	基調講演3
10:30～10:40	インフォメーション
10:50～11:40	分科会4
11:45～13:00	昼食
13:05～13:30	賛美 表彰式
13:50～14:40	分科会5
14:55～15:45	分科会6
16:00～16:30	フィナーレ、チルミニ賛美

チア・にっぽん杯 絵画コンクール

<応募要項>

- **テーマ** : 聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。
- **部門** : (1) 幼稚園の部 (2) 小学生の部 (3) 中高生の部 (4) 一般の部
- **作品サイズ** : 自由 (※作品の裏に、氏名(フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由(100以内)をお書き下さい)
- **応募締切** : 9月15日(金)
- **送付先** : 189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん「絵画コンクール」係

※コンベンション会場で表彰式が行われます。

聖句書道展

<応募要項>

- **テーマ** : 聖書からのテーマをもとに、内容は自由。
- **対象** : どなたでもOK!
- **サイズ** : 自由(半紙、八つ切り、掛け軸ほか)
- **応募方法** : 作品に名前を書き、掛け軸に貼った状態でお送り下さい。
- **応募締切** : 9月22日(金)
- **送付先** : 189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん「聖句書道掛け軸」係

※コンベンション会場で展覧会が行われます。

早期申込特典 プレゼント!!

9月10日(日)までにお申し込み&ご入金いただいた大人の方に、「聖書10」「子どもの可能性を伸ばす7つの秘訣」「神の知恵と親の情熱」「世界の始まり」「DVD 聖書」の中から、いずれか1つを、もれなくプレゼント!(大人2名で「聖書10」の教師用ガイドもOK)。ぜひ、お早めにお申し込みを!



【 大阪 宿泊情報 】

■大阪国際ユースホステル（会場内）

（8月31日までに、チア・につぼんまでお申し込み下さい [定員 24名]。それ以降は各自でのご手配をお願いいたします。）

【6名一室：基本的に男女別（乳幼児は別）の相部屋ですが、6名のご家族であれば家族部屋をご用意できます。6名未満でのご利用をご希望の場合、個室料金がかかります。】

●宿泊費：1泊 2,980円、2泊 5,960円
（添い寝の乳幼児は大人1名につき1人まで無料ですが、施設利用料 300円がかかります）

●キャンセル料金：2週間前まで 30%、2週間～当日 100%。

【 大阪 食事情報 】

大阪会場では宿泊者以外でも、館内レストランでの食事の事前申込が可能です（4歳以上から料金がかかります）。ご希望の方は9月15日（金）までに、チア・につぼん事務局にお申し込み下さい。なお、9月9日（土）以降にキャンセルしますと、規定のキャンセル料金がかかります（2日前まで30%、前日は50%、当日キャンセルは返金なしとなります）。ご変更がある場合は、できるだけ9月8日（金）までにご連絡下さい。

レストランをご利用されない場合は、各自昼食をご持参いただき（昼休みが短いため、持参をお願いしています）、館内の指定された場所等で食事を取ることが可能です。

●食費：朝食 750円、昼食 850円、夕食 1,100円

【 東京 宿泊情報 】

■国立オリンピック記念青少年総合センター（会場内）

（9月15日までに、チア・につぼんにお申し込み下さい）

●宿泊費

☆相部屋（乳幼児以外、基本的に男女別4名一室）：1泊3食 4,160円、2泊6食 8,320円

☆シャワー付き個室：1泊3食 5,890円、2泊6食 11,780円

●キャンセル料金：2週間前まで 20%、2週間～当日 100%。

※レストランの規定で、添い寝の場合でも、3歳以上は食券が必要になります。

☆自己紹介&アップデートタイム at 東京コンベンション☆

《 10月13日（金）夜7時～ 大ホールにて予定 》

東京コンベンション会場で、初日の夜、自己紹介&アップデートの時を持ちます！ みんなもっとよく知り合え、励まし合えます！ 1家族の持ち時間（予定）は40秒（個人：30秒）！ 終了後、各地域ごとのミーティングも計画中。

名簿作成の関係上、参加ご希望の方は、参加者のお名前と共に一言アピールを添えて、Eメール（office@cheajapan.com）または、FAX（03-6862-8648）でお申し込み下さい。

チア・コンベンション講演抄録 (五十音順・敬称略)

【主講師 講演予定 (Keynote)】

ハル&メラニー・ヤング夫妻
(Hal & Melanie Young)

【基調講演 Keynote】

■ 「ティーンの子どもを失わないために」

ホームスクーリングを終えて子どもが家を離れるとき、現実と直面します。その時に親が手にしているのは「関係」だけです。子どもと神さまとの関係、そして子どもと親との関係です。

子どもの信仰生活において、神さまとの関係、親との関係がどれほど大切なのかを強調する研究報告について学びましょう。また、悪化した人間関係を修復する方法を発見し、大人になっても切れることのない関係を築く実践的な助けをお伝えします。夫妻の上の子どもたち6人は、既に成人して家を出ていますが、今も親友のような関係を持っています。

When you get to the end of your homeschooling and your child leaves home, things get real. At that point, the only thing you'll have is relationship: their relationship with God and their relationship with you. Learn about encouraging research that highlights the critical importance of relationships in the spiritual life of our children, find out how to rebuild strained relationships, and get practical help to build the kind of relationship that will last through adulthood. Hal & Melanie's six oldest children have grown up and left home and are their best friends.

■ 「恐れからの解放」

恐れに基づく子育ては、たとえ良い動機で

あったとしても、間違った選択をさせてしまいます。カリキュラムを選ぶ時も、子どもに何が必要かではなく、知り合いと同じであることを基準に選んでしまいます。その理由は、わが子が他の子どもよりも後れを取ることを恐れているからです。親はティーンの子どもが間違いを犯すことを恐れ、事細かに管理します。そうしてストレスがたまり、心配で夜も眠れなくなります。

なぜ私たちは「もしこうなったらどうしよう?」という不安に簡単に陥ってしまうのでしょうか。神さまは私たちに恐れのお霊をお与えになったのではありません。この講演では、本当の安心と希望の源に目を向けさせ、自由に、周りの人の行動に関係なく、子どもにとってベストなことができるよう導きます。勇気を出して踏み出しましょう!

Fear-based parenting drives us to make bad decisions despite the best of intentions. We choose curricula based on what our friends doing, not what our kids need, because we're scared they'll miss something. We micromanage our teens because we're afraid they'll make mistakes. We stress and worry and can't sleep at night. Why do we fall so easily into the what ifs? God has not given us a spirit of fear. This eye-opening session will point you to the real source of security and hope and free you to do what is best for your children no matter what anyone else is doing. Step up and take courage!

【分科会 Workshop】

■ 「息子を持つ親はヒーローの親」

聖書には「子どもたちは主の賜物」とあります。しかし、男の子を育てるのはどうしてこんなに大変なのでしょう。男の子は常に動き回り、注意散漫で、際限なく騒がしく、お

まけに好奇心旺盛です。しかし、その騒動の背後には目的があります。神さまが息子に抱く目的を親が探し求めるなら、親は素晴らしいことの一端を担うことができるでしょう。6人の成人した息子たちがいる夫妻が、皆さんが息子の心と思いに近づけるよう助け励まします。

The turmoil of the tween/preteen years between nine and thirteen usually catches parents by surprise. Diligent students become addled and distracted. Kids raised in church start questioning the existence of God. Sweet children seem to climb on an emotional rollercoaster – and then invite you to join them. Don't get a ticket for that ride! Instead, learn to resist the temptation to lose it yourself and to shepherd our children through this challenging age at this funny and all-too-real workshop — and lay a foundation to make the teen years great!

■「学業成功のための力を抜いたホームスクーリング」

子どもを苦しい勉強漬けの生活にさせなくても、立派な学力を持った子どもに育てることは可能でしょうか。夫妻が行ってきたホームスクーリングは、大変リラックスしたものでした。一方、6人の子どもたちは難関大学の奨学金を得るほどに成長できました。「学習」と「学校教育」の違いを学び、親がすべき大事なことと、すべきでないことを学びましょう。この講演では、皆さんの重荷を取り去り、子どもと過ごす時間を楽しみ、子どもたちの将来に備え良い準備をする方法を学びましょう。

Is it possible to have well-educated kids without drowning in a sea of drudgery? All six of Hal & Melanie's homeschool graduates were offered academic scholarships to great colleges, even though, (once Melanie got her feet under her) they've been very relaxed homeschoolers. Learn the difference between learning and schooling—hear what's important

that you get done and what's not! This workshop will lift your burdens and free you up to enjoy these years with your children and prepare them well for their future.

■「文字を読む難しさを克服する」

何かに難しさを覚えるとき、皆さんならどうしますか。なかなか読めるようにならない時は？ 息子のサムは11歳になるまで、ほとんど字が読めませんでした。スペルや文章をしっかりと書けるようになるには、さらに時間がかかりました。しかし、現在サムは大学に通っています。この講演では、親子が希望を持ち続ける方法、読めないことに伴う葛藤や恥ずかしさを克服するのを助ける方法、いつどのように助けてもらうかを知る方法、そしてこの試練がどのように子どもの祝福となり得るのかを話し、励ましを与えたいと思います。

What do you do when it's not that easy? When reading isn't happening when you thought it would? Our son Sam didn't learn to read well until he was eleven and to spell and write until he was older than that, but he's succeeding in college now. This encouraging session discusses how to keep hope alive in you both, how to help them through the social struggles and embarrassments that come with being a late reader, how to know when and how to get help, and how this trial can ultimately bless your child. We'll talk about the struggle and give you hope for the future!

■「子どもに仕事をさせる」

「子どもが怠けていて、やる気がない」と不満をこぼす親がいます。ところが、アメリカでは、子どもにお手伝いをさせている家庭は、わずか28%しかありません。ほとんどの家庭では、全く手伝わせていないのです。

私たち親は子どもに善悪を教え、読み書きを教えます。一方で、働き方を教えることは忘れていきます。

神さまは、私たち家族に選択の余地は与えられませんでした。寝たきりの妊娠を8回も経験し、その後フルタイムのミニストリーとビジネスをスタート。子どもたちに仕事をさせなくては、やっていけない状況だったので。何歳の子どもであっても、勤勉に働くこと、勉強をやり終えること、お手伝いをする事、率先して行動すること、自分の能力に自信を持つことを教える実践的な戦略を学びましょう。子どもが元気に立ち立できるように助けあげましょう。確かに、あなたにはできます！

People complain all the time that their children are lazy and unmotivated, but only 28% of American families give their children any chores at all. At all. We teach our children right from wrong, we teach our children to read and write, but forget to teach them how to work. God gave us no choice. With eight bedrest pregnancies and then a full-time ministry and business, we had to get the kids on board or drown. Come get practical strategies for teaching your children to be diligent - to get their schoolwork done, to do chores, to take initiative, and to be confident in their abilities - at all ages. Help your kids to get out of the wagon and start pulling it, cheerfully. Really, you can do it!

■「ギフテッドの子どもが本当に必要としていること」

親は子どもが賢いことを望みます。とはいえ、子どもが突出した能力を持っていたらどうでしょう。他の子よりも圧倒的に成績が良く、勉強の進度も早く、さらに上を求める子どもの必要に応えるのは大変かもしれません。本当にその子の必要に応えられるのでしょうか。あるいは、専門家に任せたほうがいいのか。その子が周りとなじめるようになるには、どうしたらいいのでしょうか。その子の将来は？早く卒業させるべきか、そうではないのか？

夫妻は学生時代に、革新的な英才プログラムと従来の英才プログラムの両方を経験しました。さらに、突出した能力を持つ子どもをホームスクーリングで育てた経験から多くを語ることができます。子どもの勉強をどのように進めたらいいのか、周りの人と上手に関わるためのアドバイス、子どもの霊的な疑問への答え方、いつどのように背中を押し、または勉強の幅を広げるについてお話します。楽しみながら、賢いお子さんの必要を満たせるように学びましょう！

■「高校や大学での勉強に困難を覚えている人」

私たちの息子の一人は11歳の時に文字を読み始め、14歳になっても3文字の単語のスペルをすらすらと言えませんでした。そんな子どもが、17歳になる頃には楽しんで古典の哲学書を読み、全額奨学金を得て大学に行くようになるとは想像もできませんでした。

この分科会では、高校の勉強に困難を覚えている子どもをどのように支援するか、かつ、どのようにして学ぶことを好きにさせるか、大学でどのような支援を受けられるのかをお話しします。きっと、たくさんの助けがあることを知って驚かれますよ！勉強に困難を覚えていた息子は大学で優等生に選ばれ、大学からも大きな支援を受けています。その方法を学びましょう！

At eleven, one of our boys was just learning to read and at fourteen he still struggled to spell three letter words. Little did we know that he'd be reading ancient philosophers for fun at seventeen and that he'd go to college on a full academic scholarship! In this workshop, we'll talk about how to help your struggling learners through high school (and give them a love of learning!), how to get accommodations on the SAT and ACT, and how to find out what help a college can give them - and you'll be surprised just how much they can do! Our

struggling learner is on the Dean's List at his college and getting accommodations that really help. Find out how!

ジョイス・イノウエさん (Joyce Inouye MA. Ed.)

■「障害のある子どもの教育、弟子訓練、愛する際の『10の掟』パート1」

このセミナーでは、学習障害に限らず、子どもの教育、弟子訓練、愛する際の、聖書に基づく『10の掟』の前半5つについて語ります。

1番目の掟では、子どもの人生における神のご計画を明らかにします。

2番目の掟では、子どもの必要に最も合ったリソースの見つけ方について導きます。

3番目の掟では、子どもの検査結果が診断と一致しない場合がある理由を述べます。

4番目の掟では、落胆 VS 励ましの影響について語ります。

5番目の掟では、親切と恵みを自分自身に与える必要性を強調します。

This seminar will speak about the first five Biblically-based (updated) commandments when educating, discipling, and loving our children whether they have learning challenges or not.

- Commandment One will reveal God's plan for your child's life.
- Commandment Two will guide parents how to determine what resources that best meet their child's needs.
- Commandment Three will address why a child's testing may not accurately reflect their diagnosis.
- Commandment Four will discuss the effects of discouragement versus encouragement.
- Commandment Five will emphasize the need to be kind to ourselves and offer grace.

■「障害のある子どもの教育、弟子訓練、愛を示す際の『10の掟』パート2」

このセミナーでは、学習障害に限らず、子どもの教育、弟子訓練、愛する際の、聖書に基づく『10の掟』の後半5つについて語ります。

6番目の掟では、子どもが最も必要としているものの見極め方を教えます。

7番目の掟では、子どもに挑戦させることと、気落ちさせることの違いを説明します。

8番目の掟では、子どもにとって最良の学習法を見つけることを助けます。

9番目の掟では、子どもが学習する際に必要なことに焦点を当てます。

10番目の掟では、子どもと共に過ごす時に得られる良い機会について語ります。

This seminar will speak about the last five Biblically-based (updated) commandments when educating, discipling, and loving our children whether they have learning challenges or not.

- Commandment Six will teach how to identify their child's greatest needs.
- Commandment Seven will explain the difference between challenging your child and breaking their spirit.
- Commandment Eight will help discover how your child learns best.
- Commandment Nine will focus on what is necessary for your child to learn.
- Commandment Ten will discuss of the opportunities you have when you are with your child.

■「子どもが見えない障害を持っているならー子どもの得意・不得意を正確に見極め、良い学習の助けとなる」

「見えない障害」とは、その人の機能や学習能力に大きな影響を与えている、目に見えない障害です。例えば、注意欠陥多動性障害(ADHD)や学習障害(LD)、聴覚情報処理障害といった、

目に見えない障害を抱える人は、症状が似ていることが多いため誤解を受けたり、誤診されたりすることがよくあります。このセミナーでは、子どもの得意、不得意を正確に見極める方法を教えます。そうすることにより、子どもの潜在能力を引き出し、主イエス・キリストの知識とアイデンティティーをさらに持つようになります。

The definition for an “invisible disability” is when the challenges significantly impact one’s ability to function and learn, even though these challenges are not visible. Having invisible disabilities, such as ADHD, LD, Process Disorders, illness, etc., often cause children to be misunderstood and misdiagnosed due to overlapping symptoms. This seminar will train you on accurately determining your child’s strengths and weaknesses, which will become a key to unlock their potential in their academics and grow their knowledge and identity in the Lord Jesus Christ.

■「やる気が出ず、集中できず、学習障害を持つ子どもを教え、弟子訓練する方法」

このセミナーでは、子どもに合わせた方法で学習を助け、子どもが自分の必要にもっと気付けるようにし、その方法を用いることで将来どのように役立つかを語ります。

This seminar will address these needs by providing personalized strategies to help your child learn, increase their awareness of their needs, and explore how strategies can be helpful for the rest of their lives.

■「いのちをもたらす『言葉』を用いて子どもを祝福する方法」

聖書は、言葉には力があり、生と死をもたらすものと語っています（箴言 18:21）。忍耐が持てない時、怒っている時、イライラしている時に発した言葉を、どのように挽回する

ことができるでしょうか。このセミナーでは、子どもたちの心と思いと魂に『いのち』を与える言葉をかけ、祝福する方法を学びます。

The Bible speaks on the power of the tongue and how words bring us life or death (Proverbs 18:21). How can we redeem our words when they have been spoken in times when we are impatient, upset, and frustrated? This seminar will teach you and your children how to bless by speaking words that promote “life” to their hearts, minds, and souls.

■「子どもの必要に合わせたホームスクール・カリキュラムの作り方」

子どもに障害がある場合、カリキュラムもそれに対応させる必要があります。どのように勉強や聖書のカリキュラムに取り入れたのでしょうか。このセミナーでは、子どもがあらゆる分野で潜在能力を発揮できるよう、一つずつ説明していきます。

When your child has disabilities, a program must address these disabilities for it to succeed. How do we incorporate this into an educational or spiritual program? This seminar will provide a step-by-step process, so they can obtain their potential in every setting.

■「Q & A」(2021年のウェビナー時のように多くの質問が来ると思いますが、参加者の助けとなると思うので、日本の方から頂いた5つの質問を紹介します)

1. 知的障害のある子どもが福音や救いのメッセージを理解できていることを、どうすれば確信できるでしょうか。

2. 息子がうつになり、パンデミックの期間に自傷したり、自殺をしないと何度も口にしたりしました。私は一人でどうしたらよいか分かりません。息子は中学生です。

3. 息子は宿題をする時は全く集中できない

のに、ビデオゲームをする時は何時間でも集中できるようです。やりたいことには集中できるのに、なぜ数学を勉強している時は集中できないのでしょうか。毎日の勉強も中途半端で、取り組むまでに時間が掛かるため、始めたがりません。どのように励ませばいいのでしょうか。

4. 娘が近所の子どもたちからいじめられています。小学3年生です。クリスチャンとして愛し、赦すよう、どのように勧めたらいいのでしょうか。

5. 息子は読むことが非常に遅く、失読症の可能性がります。私も失読症で、読めません。自分が読めないのに、どうしたら息子を励ませるのでしょうか。息子には、もっと読めるようになってほしいです。どうしたらいいのでしょうか。

1. If my child has low intellectual ability, how can I be confident that they understand the Gospel and salvation message?

2. My child has been depressed. During the pandemic, he tried to hurt himself, and he often speaks of suicide. I am alone and don't know what to do. He is in junior high.

3. My child is highly distracted when working on his homework, yet he seems to focus well on video games for hours. How can he focus well when he wants to but lack the ability to focus when he is learning math? His daily work is incomplete, and he is so behind that he hates to begin. How can I encourage him?

4. My child is being bullied by the neighborhood kids. She is in the 3rd grade. How can I encourage her to love and forgive them as Christians?

5. My child is behind in reading, and I suspect that he is dyslexic. I am dyslexic and a non-reader. How can I encourage my son when I can't read either? I want more for my son. What can I do?

【基調講演】

■「イエスさまの再臨に向けての備え」 ダニエル・ファンガー

イエスさまが花嫁を迎えに来る日が迫っています。イエスさまがその前兆として語られた「ノアの時代、ロトの時代の再来」がまさに現実となっています。終末の時代において、どのように備えをして待つべきか。混乱と恐れが渦巻く世の中で、いかにして希望と平安を保つのか。背教・背信の時代において、家族の信仰を守り、子どもの教育にいそしむことの重要性。惑わしと暗闇が増す社会のなかで、隣人を愛し、神様のための光となることなど、自ら考え実践しようとしていることを紹介するとともに、皆さんの励みになることを祈っています。

【分科会・東京／五十音順】

■「世界宣教とホームスクール」 伊藤 仁&ソジョン

長男が生まれて5か月のときに、親子3人でミャンマーに行き、現地ではずっとホームスクールでした。現在、雄基は20歳で神学校スタッフ、愛希(高2)は加古川のチャーチ・スクール、聖治(中3)光児(小6)美香(小3)の3人は今もホームスクールです。家族7人が宣教チームとなって、一緒に色々な困難を乗り越えていった物語を証します。

■「聖書的創造とは何か？」 宇佐神 実

聖書に基づいて自然界を見ていく時、聖書通りにこの世界が創造され、保たれていることがわかります。またノアの洪水など聖書に出てくる出来事に基づいて考えることで科学的理解をふかめることができます。この講演は、聖書的創造の立場からこの世界を見ることの大切さを考える学びです。そのことを親から

子へと伝えられるとすばらしいですね。

■「初めの愛にかえって」

鍵谷 陽子

子どもが親を信頼してくれる時、何を教えても、どんどん身に付きます。そうでないなら、どんなに大切なことでも、心に入りません。

焦る時、サタンはすかさず「信頼されるような立派な親ではない」という事実を突いてきます。

でも、親として信頼されるよりも大切な事があります。それは、親自身が天の御父を信頼する事。こんな罪人をも救い、何度も赦して下さった主の愛に憩う時、まず私自身の「主への信頼」が回復され、子どもにもその恵みを分かちチャンスになります。沢山失敗してきたからこそその証をお分ちできればと思います。

■梶山 直樹&志津

■カボンボン・デロン&奈央子

■川嶋 しのぶ&ほさな

■倉白 あんどりゅー

■ジャン・ブローマン

■「規律と自由、真面目さと大らかさ、清さと楽しさ、保護と自立」

清野 基・百合子

規律を重んじすぎて自由が失われることもあれば、自由を重んじすぎて規律が失われる事もあります。真面目になりすぎて大らかさが失われることもあれば、大らかになりすぎて真面目さが失われることもあります。清さを求めすぎて楽しみがなくなってしまうこともあれば、楽しさを求めすぎて清さが失われることもあります。子どもを守りすぎて自立を妨げてしまう事もあれば、自立させようとしすぎて子

どもを守れないこともあります。

子どもの成長段階に応じて、家族は様々なシーズンを通ります。その中で絶対に失ってはならないものとは何でしょうか。私達のささやかな経験から分かち合います。

■「わたしの恵みはあなたに十分である。」

我が家の進学と就活で思ったこと

小西 辰則&智恵美

「わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのうちに完全に現れるからである（IIコリント 12：9）」

我が家の娘たちは一般の幼稚園・小中高校に行かずにのんびりとチャーチ&ホームスクールで過ごしました。ホームスクールを終えて、専門学校や大学への進学、また就活での娘たちの苦労や工夫についてお話します。また時間があれば、親子関係の変化もお話したいと思います。

■「主はいつも良きお方～谷井家ホームスクーリング 10年の軌跡～」

谷井 涙賀&玲子

2014年、長女の小学校入学と共に始めてHS10年目を迎えました。現在、長女は高1、次女は中2、長男は小3です。聖書に基づいた人生のために、どのような土台を築いたらよいかを模索&葛藤しながらの毎日でした。山あり、谷あり、涙ありの歩みでしたが、振り返ってみると「いつも良きお方」の主が導いて下さったことに気付きます。正直、途中で投げ出したくなることもありましたが。この分科会では主がHSを継続させて下さった恵みを分かち合いたいと思います。10年目を迎えた長女の本音トークも予定しています。

■「祝福されたホームスクール」

(※大阪でも開催予定)

當間 紀子

不登校がきっかけでホームスクールに至っ

た娘が、振り返ると神様の豊かな導きにより成長し、現在は大学で神学を専門的に学び、学業に励んでいます。長男は、中高一貫校に進学し、高校1年の7月にホームスクールのため自主退学しました。現在は大学を卒業後、コンサルティング会社に就職し、キリスト者として社会に貢献する日々を送っております。神様がホームスクールを通して、長男と長女を豊かに成長させてくださいました。私達家族のホームスクールの体験を通して、一人でも多くの方のご参考になれば幸いですと存じております。

■十三男・ブローマン（※大阪でも開催予定）

■ナタン・ブローマン（※大阪でも開催予定）

■「ボンコツ母娘、大学受験に挑む」

（※大阪でも開催予定）

成瀬 由紀子&愛娘

ホームスクールを始めて8年目、通信制高校に通う長女（当時高2）が大学受験を志しました。高すぎる志、伸びしろしかない成績、複雑極まりない受験システム。「合理的配慮」の利用等も含めて、神様から受けた憐れみと恵みをお分かちします。長女本人も体験を分かち合います。

■「公立、私立を経てのホームスクール～クリスチャニティー・私たちのライフスタイル～」（※大阪でも開催予定）

中村 純子

2018-2020年、コロラド州の聖書大学に行くため子どもたちと3人で移住。公立・私立、さらにクリスチャンスクールへと導かれる中、コロナで学校閉鎖となり、ホームスクーリングを体験しました。教会のホームスクーラーたちに好印象を持ったものの、シングルマザーの私には無理とっていました。

聖書大学を卒業し、帰国後、チア・にっぽんと出会って安心し、ホームスクーリングを決

意。両親の理解も得られました。教育委員会との面談も、準備と祈りの中で克服。主の助けで、両親のサポートも得られ、2020年に我が家のホームスクーリングが始まりました。実際の日々、カリキュラムと共に、恵みの深さを証しさせていただきます。

■「不登校をどう理解しますか？」

中村 昌代

自分の子どもが不登校になった時、すぐにホームスクールへと転換できましたが、世間の方々はそうではないことに気づきました。そして、フリースクールでのボランティアを経て、横浜市で親の会を起ち上げ、8年になります。ホームスクールと似て非なる不登校について、ご一緒に考えてみませんか？

■ピーター・ブロックソム

（※大阪でも開催予定）

■「主の恵みの中で生きる」

平岡 真実&恵美香

ホームスクールで5人の子供たちを育てる中で2018年にサラリーマンからイチゴ農家に転身。東京からふくしまに移住して、大自然に囲まれて生活しています。5年間を振り返りながらふくしまで農家になることを決意したみことばを紹介します。また、中学3年生から3歳児までのふくしまで新たに加えられた子供を抱えて、農業繁忙期の8人家族のドタバタ生活をお分かち致します。100%主によって生かされているのですが、同時に「生きる」という能動的な意思が必要な生活です。主が励ましと慰めを与えられるセッションとなることを願いつつお話しします

■「20年の恵みをふりかえって」

藤原 樹里

娘の小学校入学とともに始まったわが家のホームスクールも、息子の通信制高校卒業（来

春)で一段落。20年前は本当に悩んで始めたホームスクール。振り返ってみると、教会での挫折、病気、進む道の悩み、毎日の献立、運動不足……。今も継続中の課題も含めて、決して順調なことばかりではありませんでしたが、それもすべて主の恵み。ホームスクールだから守られた家庭内の平和と喜びは、かけがえないものです。急停車・急発進のホームスクールライフですが、時々には与えられた折りに適った助けを振り返り、ともに恵みをお分かちできればと思います。

■「チャーチ&ホームスクールで育児する母+チャーチスクールの教師になった私の20年~CCSI(カベナントコミュニティスクールインターナショナル)の紹介も~」

星野 ゆかり

我が家の6人の子どもたちの学習は、週2日でチャーチスクール(CCSI)、週3日でホームスクールという形で始まり(その間妊娠出産で何度も中断有り)、現在は週1日HS、週4日CCSIという形で学んでいます。2021年からは私がCCSI教師として勤務することになり、自分の子どもを含め小学生~高校生の日本人生徒のクラスを担当しています。その変遷や、HS・CSそれぞれの利点、母として教師として子どもたちと接して学んだことなどをお分かちします。また、CCSI校長Katieより、学校紹介もさせていただきます。

■「将棋でなくて『囲碁』! ホームスクール恵光学園11年目の歩み」

山崎 啓一&こずえ

子供たちを学校に行かせるのは、当たり前? 進化論が軸の学校に通わせながら、どうやって信仰を育むのか。チアに会い、思い切って始めたHS恵光学園にも実が実ってきました。緑豊かで果物が美味しい山形でのホームスクールは、フレッシュな恵みが溢れています♪

○ホームスクール恵光学園とは?

○実った「囲碁」を用いて地域に侵入する!

○ハンディを持つ三男と家族愛→狭い門から御国に入る

○HS燃え尽き対策→イエスの御名によって、今日のマナをいただく必要性

イエス様と過ごす私たち家族って、なんて恵まれてるんだろう! 分かち合いと質問コーナーで、お時間を共に過ごしたいと思います。皆さんを祝福します!

【分科会・大阪/五十音順】

■「普通のサラリーマン家庭でもホームスクールはできる? 2023年バージョン」

今井 一穂&真理子

「普通のサラリーマン家庭」でもホームスクールはできるのでしょうか? はい、やっています! ホームスクールの扉は「普通のサラリーマン家庭」に開かれています。

(1) ホームスクールへの経緯

(2) 普通のサラリーマン家庭のホームスクールの日常(聖書の時間、家事、勉強、習い事、いいことメモ&もうちょっとメモ、妻のリラックスタイム など)

(3) 我が家のYouTubeチャンネル「かんくんちゃんねる」

■「主の導きに委ねて」

岡田 恵理也&愛

「神は、我が家のホームスクーリングを喜んでおられるのだろうか?」

長男の義務教育修了という節目を前に、主からの召しを何度も見失いかけ、問い続けたここ数年間。

しかし主は、成長し続ける子どもたちの姿を通して、ご自身の、忠実で恵みに満ちたご性質を示し続けてくださいました。

長男はこの春、通信制高校へと導かれ、長女と次男、三男は音楽や陸上競技に熱心に取り組む日々。

大小様々な変化の中で、親の在り方や関わり方も試行錯誤です。大切な時期に差し掛かっ

た彼らを前にして思うことは、原点に立ち返ることの重要性です。

■「世界的視野を育てよう」

大久保 みどり

聖句：使徒 17：24-28

世界情勢が目まぐるしく動いていますが、全能の神様は、着実に千年王国に向けて諸々の国民を導いておられます。

世界の中の日本、日本の中の自分の教会、そして自分の在り方を見極められる目を育てることも大切です。

■木谷 尚美

■「この子どもたちを祝福してください」

ギンター 千為子

オンラインサポート『パートナー』を始めて5年目になりました。この間、素晴らしい出会いがたくさんありました。ご両親からも生徒の皆さんからも、ほんとうに多くのことを学ばせていただき、未熟ながら、喜びと感動の日々を送らせていただいています。現実的には無理だと思ふことも、主の手にあつて不可能はないのだということは何度も体験させていただきました。これらの経験を通して私自身が教えられたこと、勉強を進めるうえで大切なことについて、お分かちできたらと思っています。

■「ホームスクールで学力をつけるために」

竿代 健&矢須子

2人の子供が幼児の時から始めた15年のホームスクールを振り返って、もし、もう一度最初からホームスクールを始めるとすれば、どうするかを想像してみました。ホームスクールの目的は、キリストの弟子となる、キリストにあつて成長し、成人になっていくこと。故に、学力だけ切り離すことは、本来はできないのですがあえて、学力に絞って考えてみたいと思います。

幼児教育から大学受験の勉強まで、試行錯誤の連続でしたが、振り返って、学力を養うという点で、幼児から高校年代まで、やったこと、よかったこと、後悔していること、学んだこと、今でもよくわからないこと、をお分かちしたいと思います。

■「子どもの真の救いと碎かれること」

淳子・ブロックソム

この世において、何よりも大切なことは真の救いへ導かれることです。神様の大きい働きかけ、自分自身と子ども達の歩みを振り返りながら、子どもが真の救いへ導かれる過程とは現実的にどのようなものなのか、そして親としてどのように心構えをしておくべきなのかについて、自分の体験を交えながら分かち合いたいと思います。

■「一人娘の18年間のホームスクーリングを終えて」

末宗 宣行&百合子

主の恵みにより、18年間のホームスクーリングを終えて、感謝の思いを込めて……、今回は娘と一緒に家族3人でお話しします！娘が神様とつながっていること、主にあつてこれからの人生を歩もうとしていること、それが私たちのホームスクーリングの一番の実です。

■「感謝な『限りある子育て・ホームスクーリング』」

竹橋 賢一&祐子

限りある子育て・ホームスクールの期間をどのように過ごしたか振り返りながら、多くの反省点（悔い改め）良かったこととお話しできたらよいのかなと思います。

私たち家族のホームスクーリングは13年間です。小学校2年・保育園の年長から始めました。子供たちとの親子関係は続きますが、子育て・ホームスクールの期間は限りがあります。神様に教えていただきながら、この期間、様々

なことを親子また夫婦で体験・経験してきました。私たち家族のホームスクールをお分かちできたらと思います。

■「成長させたのは神です」

田丸 暁規&明日香

信仰歴も浅く、召しかどうかもわからない私たちが、ホームスクーリングに飛び込んで8年目、今年は娘を千葉の大学に送り出しました。息子は高校1年生の年を送っています。未熟な私たちが、ここまで続けてこられたのは、神のあわれみとしか言えません。スタート地点からこれまでの私たちの歩み、それぞれのステージの中で大切にしてきたこと、失敗、様々な取り組みや、そこにあった神さまの恵みを振り返ってみたいと思います。

■トゥール・ジェフリー&文絵

■「主と共に生きる～中島家のあかし～」

中島 若樹&啓子

ホームスクールを始めて18年半がすぎました。26歳、23歳、21歳、18歳、16歳、13歳、10歳、8歳、3歳の9人の子供達がいいます。上の3人はすでに家から巣立ちました。家から専門学校に通っている子もいます。子供が成長して次のステップへ踏み出すと、家族の形や生活にも変化が起こります。そして今でも家をベースにホームスクールをしている子供達も5人います。そんな我が家のストーリーを分かち合いたいと思います。

■「子供5人、末っ子はダウン症。転勤族。体力の無い母親の18年のホームスクール」

山下 望&綾子

クリスチャン歴約5年、長女が2歳、長男が0歳の時、初めて参加したチアコンベンションで決意し、当時ノンクリスチャンだった主人とホームスクールを始めて約18年がたちました。主人の転勤に伴い3回の引っ越し、慣

れたところで次の土地と、緊張は毎回ありますが、それぞれの土地で子供達にとって良い出会いがありました。

昨年は、長女がカナダのカレッジに留学が決まり、大家族も少し寂しくなりました。体力がなく、信仰の弱い私をこれまで支え導いてくださった神様に感謝し、お分ちさせていただきたいと思います。

■「ホームスクーリング 18年分」

山上 英樹&須美

長男が18歳になり、ホームスクーリングも18年分になりました。この中で特に心に残った出来事、励まされた言葉、聞かれた祈りに焦点を当ててお分かちしたいと思います。

また2023年は長男と三男にとって新しいチャレンジの始まる年でもありました。それぞれがその選択に至る道のりについてもホームスクールの恵みを覚えつつお話したいと思います。

妻であり母である須美と長男のヨシュアが話し担当、夫であり父である英樹はやさしく静かに頼もしい笑顔を見せてくれる予定です。

■「ホームスクールあるとき！ないとき！」

山本 晴彦&真理

この分科会では、私たちがホームスクール(ホームエデュケーション)を始めるにあたって教えられたこと、また行っていく中で励まされたことなどを分かち合わせたいと思います。また、勉強の進め方、スケジュール、教材なども分かち合いたいと思います。皆様の何かの参考になればと思っています。

子どもの年齢：愛基(中2)、恵愛(小4)、優謙(小1)、主心(年中)です。

他、講師多数

(そのほかの講師の皆さんや抄録等は次号掲載予定です)

チア・にっぽんカレンダー

● チア・コンベンション 2023

【東京】 2023年10月13日（金）～14日（土）

東京オリンピックセンター

【大阪】 2023年10月20日（金）～21日（土）

大阪羽衣青少年センター

■ 主講師

・ハル&メラニー・ヤング夫妻
（男の中の男を育てるミニストリー）

・ジョイス・イノウエさん
（チャイルドDミニストリー）

LIT & ボランティア & コンベンション・スタッフ 大募集！！

コンベンションでは恒例のLIT（13～19歳向け弟子訓練プログラム）を募集します。各会場15名定員です。さらに、チルミニ専門、チアコンベンション業務のボランティア・スタッフも募集します。

また、東京・大阪での当日ボランティア・スタッフも公募します。既にお子さんが成人された皆さん、あるいはホームスクーリング真っ只中で少し別角度でも動いてみたい方など、年齢、既婚・独身を問わず、こぞってお申し込みください。詳細はチア事務局にお問い合わせください。今からスケジュールを確保し、お祈りをどうぞよろしくお願いします。

【2023年1月～5月会計】

- 収入 -	
献金	7,317,962
書籍・マガジン・教科書	276,109
会費	243,000
広告	165,000
その他	521,663
	<hr/>
	8,523,734
- 支出 -	
事務局経費	10,166,644
通信運搬費	299,283
交通費	48,024
印刷費	1,395,163
	<hr/>
	11,909,114
残高	-3,385,380
前月繰越	11,243,689
翌月繰越	10,905,151

※皆様からの尊いご献金と会費を心から感謝申し上げます。

こだわり自然食品・アレルギー対応食品のお店

ヨーゼフ

アレっ子の味方！

グルテンフリー アレルギー対応

小麦 乳 卵 落花生 そば えび かに

管理栄養士があつめた 250 以上の厳選食品

ヨーゼフとは... 「ここで買えば安心」な食品が集まっているお店



アレルギーをお持ちの方、グルテンフリーをしてみたい方、ベジタリアンやヴィーガンに興味がある方、オーガニックや無添加を選びたいという方のために、黄緑の看板の小さなお店をつくりました。日本各地の食の安全を求めている方には、オンラインショップからヨーゼフの食品をお届けしています。

全て併設クリニックの管理栄養士が実際に作ってこだわって厳選した食品です。とっておきの「身体がよくなるおいしさ」を必要な人に届けたい、その想いを叶えていきます。



●オンラインショップ
<https://yozephonline.com/organic.yozeph>
 スマホでチェック